

北海道東部所在刑事施設における農業を活用した段階的開放処遇モデル

○北海道東部に所在する刑事施設が連携し就農支援拠点を形成

→ 順次、実社会に近い環境での農業実習を体験させるとともに、就農に必要な資格を取得させるなどして、出所後の就農を支援併せて、自然に親しむことにより情緒的な安定に繋がる農作業を段階的に開放的な環境で実施することにより、改善更生を促す

～A指標・B指標にかかわらず開放的処遇を共に実施～

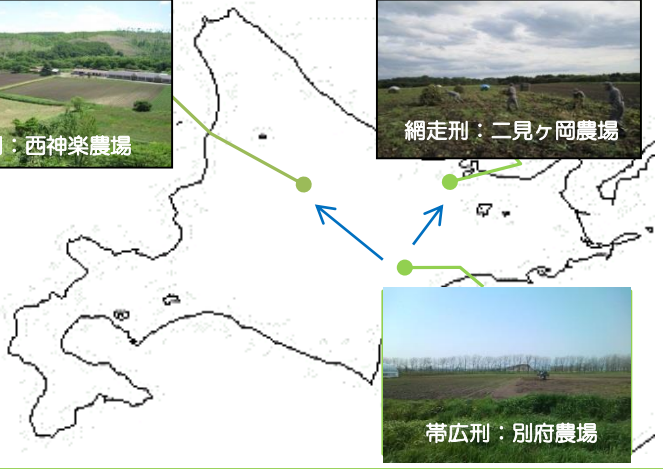
対象施設

帯広刑務所

釧路刑務支所

網走刑務所

旭川刑務所



制限の緩和制度の適正運用により
段階的に開放的処遇を実施

帯広刑務所

収容定員：502
処遇指標：B



釧路刑務支所

収容定員：321
処遇指標：A, B



旭川刑務所

収容定員：500
処遇指標：L, B, B



網走刑務所

収容定員：1600
処遇指標：B



関係機関との連携

援農

就労支援

→ 保護観察所，北海道庁，網走市，旭川市，帯広市等

矯正処遇

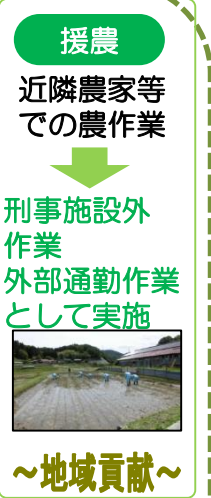
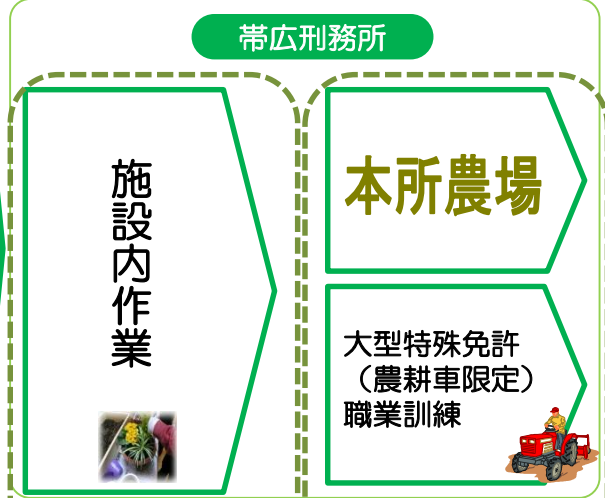
一般社会

東京管内
B指標
受刑者

札幌管内
B指標
受刑者

釧路刑支
A・B指標
受刑者

農業希望
受刑者
・
農業適格
受刑者
・
その他
開放的処
遇適格者



円滑な社会復帰の実現